

NPO 法人

VOL.1

H29.12.1 発行

ふれ愛パークだより

発行者 NPO 法人
ふれ愛パーク
住所 信楽町西 352
TEL 0748-82-4010
FAX 0748-82-4002
MAIL
soba@fukusi-shiga.net

◇ ふれ愛パークだよりの発行に向けて ◇

こんにちは。信楽の地で福祉のまちづくりを目指してNPO法人ふれ愛パークを設立してから来年で十五年になります。

この間に地域の皆様には私たちの活動の各般にわたりいろいろなご協力ご支援をいただき心から感謝しお礼を申し上げます。

さて、いま日本の各地でマイナーな変貌を遂げていく地域社会に対して、どう持続的な活性化を図るかといろいろな取組みが進められています。

信楽の地においても様々な活動が生まれているようですが、私たちは地域福祉の分野で赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのある人もそうでない人もすべての人が楽しくそして心豊かに暮らしていける地域社会を目指す活動をもっともっと広げたいと考えています。

こうした活動は「言うは易く行うは難し」というところもありますが、信楽の地域の皆様のご理解とご協力をいただくことによって、ひとつひとつ前にすすめていけたらいいなあと思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

NPO法人 ふれ愛パーク 理事長 大谷善一

◇ NPO 法人ふれ愛パーク紹介 ◇

NPO 法人ふれ愛パークは、そばづくりを通じたボランティアによる「福祉のまちづくり」活動を行うグループと、送迎や草刈りなどの支援ボランティアを行っていたメンテナンスグループが合体し、平成15年5月に発足しました。そしてその後、知的に障害がある方を対象とするグループホームの運営をはじめました。



満開のそば畑

○そばの栽培からそば打ち体験まで、年齢や障がいの有無、国籍や立場に関わらず、多くの方々がふれ合い、喜びや楽しみを共有する **イベント事業部**。

○通院・買物の送迎や草刈りなど、支援を必要とする方がたの、安心生活をサポートする **支援事業部**。

○知的に障がいがある方がたが、生き生きと楽しく、豊かな暮らしを送れるように居住や生活をサポートする **グループホーム事業部**。

以上3つの部門に分かれ、「福祉のまちづくり」に向けた活動を行っています。現在会員数は35名で、会員、賛助会員、各部門ごとのスタッフを募集しています。ぜひ私たちとともに、「ふくしのまち信楽」に向けて一緒に楽しく活動しましょう！

イベント事業部の活動

【そばの栽培・製粉】 町内の休耕田を利用してそばを栽培し、ごみ取り、製粉まで全行程を手作りで行っています。また製粉は、石臼製粉機を使用し、きめ細やかで風味豊かな、こだわりのそば粉を挽きたてで生産しています。



← 玄そばごみ取り作業



→ そば打ち体験奮闘中

【そば打ち体験】

信楽産、自前のそば粉を用いて「そば打ち体験道場」を開いています。5~40名程度のグループを対象に、そば打ち体験と湯がきたてそばの賞味をしていただきます。所要時間は1.5~2時間ほど。「出前そば打ち体験」も実施しています。地域のふれあい活動、お年寄りのサロン、障がいのある方々のイベント、学校やPTAでの親子のつどいなどに「出前」しています。

一緒にそば作りを楽しむ仲間も募集しています！

支援事業部の活動

わたしたちは、要支援・要介護及び老老介護など、生活弱者の方々をサポートするために立ち上がったグループです。

国の許可を受け、甲賀市に登録し、道路運送法に基づいた「福祉有償運送」を行っています。「福祉有償運送」とは、電車やバス、タクシーなどの公共交通機関を単独で利用することが困難な高齢者や障がい者などの会員に対し、特定非営利活動法人（NPO）等が営利とは認められない範囲の料金で、自家用自動車（白ナンバーの車両）を使用して、通院や買い物などの移送を行うドア・ツー・ドアの個別輸送サービスです。

利用者の声を紹介します。

- 年金生活者にとっては、低料金での送迎は、本当に助かります。
 - 急な時でも対応してもらって助かります。
 - 通院以外の買い物でも荷物を運んでもらい助かります。
 - 足が悪く歩行困難でも、車椅子対応で親切に送迎して頂き、本当に感謝しています。
- ☆乗降の際、「ありがとうございます」の一声を聞くと、我々スタッフは、やりがいと責任で身が引き締まります。



一緒に活動する仲間を募集しています！

支援事業部では、送迎支援の運転手を募集しています。普通自動車免許証をお持ちの方なら、どなたでも応募できます。興味のある方は、ぜひ一度お尋ねください。

【お問い合わせ先】 TEL:0748-82-4010 FAX:0748-82-4002
NPO 法人「ふれ愛パーク」 担当（川井、梶村）

ふれ愛パークスタッフ・利用者の短歌・川柳まつり

「教えつつ そば打ちサロンにふれあえば 卒寿もなんの 心が弾む」
「百歳へ あと12年 そば打つと決めて 買いたり 大のこね鉢」
「すき腹の空 雲はさんまに 見えてくる」 「大衆演劇 私大好き ひざ治る」
「名古屋場所 応援した声 た・か・や・すーっ！」

グループホーム事業部の活動

信楽駅近くに「やまつつじホーム」、中央病院近くに「はなみずきホーム」があります。女性2名と男性5名、知的障害がありながらも生き生きと楽しく暮らす、個性豊かな方々が利用されています。ホームでゆっくりと明日への鋭気を養っていただけるよう、6名の世話人が支援にあたっています。

利用者の声を紹介します。

Q 嬉しい・楽しいと感じる時は？

- 友達と遊びに行くこと。
- 年に一度コンサートへ行くこと。
- お姉さんの家に帰ること。
- 自室でテレビを見ること。
- プライベートが充実する時。

Q ホームはどんな場所ですか？

- 楽しく過ごせるところ。
- ほっとできる。(が、自分の家を持ちたい)



↑やまつつじホーム

↓はなみずきホーム



世話人の声も紹介します。

○昨年私がここに来た頃は、利用者さんはみんなバラバラだったけど、最近仲間意識が芽を出し始め、他の人を思いやる様子が見られます。それが何よりもうれしくて、その芽を大切に守り、育てていきたいと思います。

○「お腹いっぱいになった」「おいしかった」。と利用者さんの言葉に喜びを感じ、出勤される時、「行ってらっしゃい」「気をつけてね」と元気よく送り出し、帰ってきた時、「おかえりなさい」と温かく迎える。ごくあたりまえの日常の中で、ほっとできる場（ホーム）を作っていきたいと日々願い、今日も利用者さん達と共に歩んでおります。

○この仕事について1年半。気持ちが伝われば自ずと答えは出るものらしい・・・と分かり始めた今日この頃です。